

## 健全な財政運営を推進するため、真に必要な行政サービスを選択

近年、地方公共団体の行財政運営については「経営」という言葉で表現され、健全な財政運営を推進する中で、真に必要な行政サービスを中心に、真に必要な行政サービスを的確に迅速・効率的かつ経済的な方法で提供することが求められています。

旧町時代から続く当町の財政運営は、平成13年度から基金の取り崩し

# 姿勢

# ます。



平成19年度予算総額90億8,190万円  
(一般会計及び特別会計の総額)

## 今月の表紙

### 中川根南部小が「あかいしの郷」を訪問

3月5日、中川根南部小学校の児童が特別養護老人ホームあかいしの郷を訪問し、アルミ缶回収による収益金50,000円を寄贈しました。

中川根南部小学校では、毎年アルミ缶の回収活動を行っていて、集まったアルミ缶の販売代金を町の福祉向上のため寄贈しています。

この日、施設を訪れた中川根南部小学校の児童約20人は、琴と尺八による和楽器の演奏を披露、また、施設利用者のみなさんと一緒になって、しりとりや手遊びなどのレクリエーションを楽しみました。

そして最後に、児童から「福祉に役立ててください」と寄付金50,000円が施設利用者へ手渡されました。

あかいしの郷では、今回の寄付金を車いすなど福祉用具の購入に充てる予定で、「大変貴重な贈り物です。大切に使用させていただきます」と話していました。



## 4月号 目次

◆特集 平成19年度 私たちの予算	2
◆役場の窓辺から	10
◆くらしのカレンダー	15
◆まちの話題	20
◆南アルプス山岳図書館にご協力ください	25
◆生涯学習のひろば	26
◆くらしの情報	28
◆みんなの広場	30
◆緑のふるさと協力隊 石井有美のしゃべる箱	31
◆学校レポーター'sコラム	32

に頼るものとなり、平成17年度決算による実質単年度収支は、3億円もの財源不足が生じています。

川根本町として、持続可能な「経営」を確立していかなければなりません。

## 行財政改革に向けた平成19年度予算の3本柱

平成19年度の当初予算編成では、

■当町の歳入規模・身の丈に応じた中で、新町建設計画の基本方針に基づいた予算編成とする。

■町として、更なる効率性と有効性を追求することにより、合併効果と行財政改革を推進する。

■過去の行政サービス、施設の管理運営を検証し、真に必要となる住民ニーズに即した事業の予算化に努めるなど行政運営の選択と集中を進める。

この3本の柱を中心として、住民との協働によって身近で効率の良い行政運営を充実させるとともに、地域資源を活かし住民の暮らしや伝統文化・風土を守るしくみを再構築し、「水と森の番人が創る癒しの里」「豊かな自然、お茶と温泉に彩られた誰もが安心して暮らせるふるさと」の構築を目指します。

特集 ◆ 平成19年度 私たちの予算

# 川根本町の基本

## この町の新しいページを開き

新年度が始まりました。

この新しい1年間、どのようにまちづくりを進めていくのか、杉山町長は平成19年第1回議会定例会においてその方針を説明し、実現のために必要とする予算が成立しました。

今号では、平成19年度の方針と予算のあらましについてお知らせします。